

## 令和2年9月定例会終わる



### — 常任委員会のケーブルテレビ中継はじまる —



こんなことが決まりました……………	3
予算審議……………	5
決算審査……………	6
委員会中継はじめました……………	8
市政を問う 13人が一般質問に立つ ……	10
傍聴者に聞いた……………	19
議会のうごき……………	20

三次市議会のホームページもご覧ください。

三次市ホームページ

<http://www.city.miyoshi.hiroshima.jp>

▶ 市議会のページ

※三次市議会のページ(携帯サイトではありません)へアクセスします。



## 議会報告会・懇談会中止に関するお知らせ

今年度も開催を予定しておりました「議会報告会・懇談会」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止とすることといたしました。

ただし、地域の各種団体が実施されているサロンや講座、会議等を対象とし意見交換(出張型)については、感染症対策について協議した上で実施してまいります。希望される団体についてはご連絡ください。

問合せ先：三次市議会事務局 政務調査係 ☎ 0824-62-6179 FAX：0824-62-6110

# 令和2年 第2回 臨時会

第2回臨時会を7月31日(金)に開催し、次のことが決まりました。

### 議案

#### ●工事請負契約の締結について

全員一致

工事名 八次コミュニティセンター  
新築工事  
請負金額 金322,300,000円  
請負者 有限会社市山工務店

#### ●工事請負契約の一部変更について

全員一致

工事名 (仮称)吉舎町拠点施設建設  
工事電気設備工事  
変更内容 変更前 金183,700,000円  
変更後 金189,659,800円

#### ●工事請負契約の一部変更について

全員一致

工事名 (仮称)吉舎町拠点施設建設  
工事建築主体工事  
変更内容 変更前 金726,000,000円  
変更後 金741,560,600円

#### ●工事請負契約の一部変更について

全員一致

工事名 (仮称)吉舎町拠点施設建設  
工事機械設備工事  
変更内容 変更前 金163,020,000円  
変更後 金164,940,600円

### 令和2年度 一般会計予算の補正(第4号)

補正額 **5億8,570万6千円追加**

総額 **436億931万1千円**

#### ■主な補正内容

##### 《歳入》

・国庫支出金	1億9,183万9千円
・県支出金	316万1千円
・寄付金	170万円
・繰入金	3億8,900万6千円

##### 《歳出》

◆三次版学校ICT活用事業	2億5,618万円
◆小中学校特別教室エアコン整備事業	6,080万円
◆ひとり親世帯臨時特別給付金	5,742万7千円
◆中小企業経営持続支援事業補助金	7,000万円
◆中小企業者金融支援補助金	3,000万円
◆市内宿泊施設誘客事業	2,100万円
◆新型コロナウイルス感染症に伴う減額補正	▲6,497万3千円

ほか

(◆印は新型コロナウイルス感染症対応分) (▲は減額)

### 令和2年度 一般会計予算の補正(第5号)

補正額 **2億1,915万円追加**

総額 **438億2,846万1千円**

#### ■主な補正内容

##### 《歳入》

・繰入金	2億1,915万円
------	-----------

##### 《歳出》

令和2年7月豪雨による災害復旧に係る経費	
・現年災害単独土木復旧事業	8,700万円
・現年災害公共土木復旧事業	6,000万円
・現年災害農地復旧事業	2,000万円
・現年災害農業施設復旧事業	2,000万円
・現年災害林業施設復旧事業	1,800万円
・現年災害その他公共・公用施設復旧事業	1,300万円
・災害見舞金	115万円

# こんなことが決まりました

## 9月定例会

### 一部改正された条例

■三次市定住住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例 **全頁一致**

老朽化し、空室となった市営住宅を用途廃止するため、関係条例を一部改正する。

■三次市吉舎交流拠点施設設置及び管理条例の施行に伴う関係条例の整理に関する条例 **全頁一致**

三次市吉舎交流拠点施設設置及び管理条例の施行に伴い、関係条例である三次市生涯学習センター設置及び管理条例のほか4条例の一部を改正する。その内容は、吉舎生涯学習センター、三次市立吉舎児童館、吉舎老人福祉センター及び吉舎共同福祉施設を廃止するとともに、吉舎放課後児童クラブの位置を変更する。

■三次市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 **全頁一致**

基準を一部改正する厚生労働省令の施行に伴い、関係条例を一部改正する。その内容は、家庭的保育事業者等の地域型保育事業所卒園後の連携施設の確保について、保護者の希望に基づき、引き続き必要な教育・保育の提供を受けることができる場合、連携施設の確保を不要とすることや、居宅訪問型保育事業においては、保護者の疾病や障害等により家庭

において乳幼児を養育することが困難な場合、保育を提供しようとするもの。

■三次市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 **全頁一致**

内閣府令の施行に伴い、関係条例を一部改正する。その内容は、地域型保育事業を行う者に対する確認について、事業所が所在する市町村以外の市町村による確認を不要とする見直し、また、地域型保育事業所卒業後の連携保育施設の確保について、保護者の希望に基づき、引き続き必要な教育・保育の提供を受けることができる場合、連携施設の確保を不要とする。

■三次市福祉保健センター設置及び管理条例の一部を改正する条例 **全頁一致**

利用者の利便性及び住民サービスの質の向上を図ることを目的として、三次市福祉保健センターを指定管理施設とするため、関係条例を一部改正する。

■三次市公共下水道条例及び三次市水道事業給水条例の一部を改正する条例 **全頁一致**

排水設備工事申請等に必要な図面等の写しの交付に係る手数料等を追加するため、関係条例を一部改正する。その内容は、排水設備工事申請等に必要な図面等の写しの交付手数料及び給水装置工事申込等に必要な図面等の写しの交付手数料を追加する。

### その他の議案

■和解除することについて **全頁一致**

旧双三郡君田村が行った損失補償契約に基づいて、令和2年7月17日付の広島地方裁判所の和解案を受け入れ、相手方と和解しようとするもの。

■財産の無償譲渡について **全頁一致**

譲渡施設  
所在…三次市吉舎町徳市2611番地1  
種別…土地

■指定管理者の指定について **全頁一致**

指定管理施設 三次市吉舎交流拠点施設  
指定管理者 吉舎町自治振興連合会

■指定管理者の指定の変更について **全頁一致**

吉舎生涯学習センター、吉舎共同福祉施設及び吉舎老人福祉センターを廃止することに伴い、指定管理の期間を変更する。

■過疎地域自立促進計画の変更について **全頁一致**

平成28年3月に策定した過疎地域自立促進計画に、新たに「三若廻神線(ヤタ手橋)」ほか10事業を追加する。

■辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について **全頁一致**

新たに「門田辺地」に係る公共的施設の総合整備計画を策定する。  
その内容は、「門田辺地」内における市道川毛門田線の整備を行う。



9月定例会を9月4日(金)から9月30日(水)まで開催し、議案38件及び意見書2件を原案のとおり可決しました。

■備北地区消防組合規約の変更について

全員一致

「組合経費の支弁の方法」について変更するため、規約を改正する。その内容は、規約において、旧市町村の合併の特例に関する法律第11条による普通交付税の算定の特例措置を含んで、組合構成市の分担金が算定される所、合併算定替の適用については、令和2年度で適用が終了し、今後は一本算定となることから、同組合規約に定める分担金算定基準方法を変更する。

■不動産の買入れの契約について

全員一致

買入物件 タブレット端末ほか  
買入価額 金230,428,000円  
契約の相手方 富士ゼロックス広島株式会社

■人権擁護委員の候補者の推薦について

全員一致

加藤清子(粟屋町)  
(任期は令和3年1月1日から3年間)

■人権擁護委員の候補者の推薦について

全員一致

福永要(海渡町)  
(任期は令和3年1月1日から3年間)

■人権擁護委員の候補者の推薦について

全員一致

中菊圭子(上川立町)  
(任期は令和3年1月1日から3年間)

■人権擁護委員の候補者の推薦について

全員一致

坂本文明(作木町)  
(任期は令和3年1月1日から3年間)

■人権擁護委員の候補者の推薦について

全員一致

大谷直己(吉舎町)  
(任期は令和3年1月1日から3年間)

■人権擁護委員の候補者の推薦について

全員一致

沖野一典(吉舎町)  
(任期は令和3年1月1日から3年間)

■人権擁護委員の候補者の推薦について

全員一致

佐藤克也(三和町)  
(任期は令和3年1月1日から3年間)

意見書

■新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書  
全員一致

全員一致

意見項目

1. 地方の安定的な財政運営に必要な地方税、地方交付税などの一般財源総額を確保すること。その際、臨時財政対策債が累積することのないよう、発行額の縮減に努めるとともに、償還財源を確保すること。

2. 地方交付税については、引き続き財源保

障機能と財源調整機能の両機能が適切に発揮できるよう総額を確保すること。

3. 令和2年度の地方税収が大幅に減収となることが予想されることから、思い切った減収補填措置を講じるとともに、減収補填債の対象となる税目についても、地方消費税を含め弾力的に対応すること。

4. 税源の偏在性が小さく、税収が安定的な地方税体系の構築に努めるとともに、国税・地方税の政策税制については、積極的な整理合理化を図り、新設・拡充・継続にあたっては、有効性・緊急性を厳格に判断すること。

5. とりわけ、固定資産税は、市町村の極めて必要な基幹税であり、制度の根幹に影響する見直しは、土地・家屋・償却資産を問わず、断じて行わないこと。先の緊急経済対策として講じた特例措置は、臨時・異例の措置として、やむを得ないものであったが、本来、国庫補助金などにより対応すべきである。よって今回限りの措置とし、期限到来をもって確実に終了すること。

■農業生産を脅かす外来雑草の侵入を防ぐ法整備等を求める意見書  
全員一致

全員一致

意見項目

1. 日本への輸入飼料に混じっている外来雑草対策の法的整備を早急に行うこと。  
2. 農林水産省や都道府県において「外来雑草」の担当部署を明確化し、公的な監視・管理体制を確立すること。



# 予算審議

定例会で、予算決算常任委員会に審査付託となりました補正予算議案8件について審査の経過と結果を次のとおり報告します。

## 付託議案

議案第119号

令和2年度三次市一般会計予算(第6号)(案)ほか7議案

## 審査結果

いずれも全員一致をもって原案のとおり可決

## 令和2年度 一般会計予算の補正(第6号)

**補正額 16億1,206万9千円追加**

**総額 454億4,053万円**

### ■主な補正内容

#### 《歳入》

- ・市債 8億1,869万9千円
- ・繰越金 5億4,003万8千円
- ・国庫支出金 1億5,745万円
- ・地方交付税 7,560万8千円
- ・県支出金 1,081万6千円

ほか

#### 《歳出》

- ・基金積立 5億6,956万7千円  
(減債基金積立金、  
新型コロナウイルス感染症対策基金積立金)
- ・内水対策事業  
(貯留施設整備事業) 2億4,000万円
- ・橋梁改良事業 1億7,470万円
- ・道路橋梁維持管理(除雪対策) 1億5,000万円
- ◆地域経済活性化事業 5,200万円
- ◆特別養護老人ホーム江水園設備改修事業 2,242万9千円
- ◆保育所等新型コロナウイルス感染症対策事業 1,700万円
- ◆学校支援員追加配置事業 1,049万9千円
- ◆特別職人件費(感染症対策ほか) ▲694万8千円
- ◆議員人件費 ▲548万8千円

ほか

#### 《繰越明許費》

吉舎町拠点施設整備事業ほか

#### 《債務負担行為》

総務事務委託業務(廃止)

#### 《地方債》

現年災害その他公共・公用施設復旧事業 ほか  
過疎地域自立促進事業 ほか

## 令和2年度 特別会計予算・企業会計の補正

会計名	補正額	総額
◆診療所特別会計(第1号)	105万円	1億9,878万3千円
介護保険特別会計(第1号)	9,692万6千円	70億6,927万8千円
後期高齢者医療特別会計(第1号)	1,426万6千円	8億6,486万6千円
病院事業会計(第1号)	収益的収入 ◆収益的支出	1億5,940万円 1億5,940万円
水道事業会計(第1号)	収益的収入 収益的支出 資本的収入 資本的支出 企業債 追加	260万円 4,180万円 1億1,940万円 8,020万円
下水道事業会計(第1号)	債務負担行為 追加	

## 令和2年度 一般会計予算の補正(第7号)

**補正額 4,000万円追加**

**総額 454億8,053万円**

### ■主な補正内容

#### 《歳入》

- ・地方交付税 4,000万円

#### 《歳出》

- ◆高齢者インフルエンザ予防接種事業 2,200万円
- ◆小児・妊婦インフルエンザ予防接種費用助成事業 1,800万円

(◆印は新型コロナウイルス感染症対応分)(▲は減額)

# 決算審査

## 令和元年度決算を認定 一般会計・特別会計など9会計を審査

### 予算決算常任委員長報告

9月定例会で提案された各会計の決算は、本委員会において審査します。審査初日には市長の出席を求め、会派代表による決算に関する総括質疑を行いました。

また、各議案の審査においては、担当部長等の出席を求め、慎重に審査いたしました。

#### 〔付託議案〕

議案第110号「令和元年度三次市一般会計歳入歳出決算認定について」ほか8議案

#### 〔審査結果〕

いずれも全員一致をもって原案のとおり認定

#### 〔決算認定に対する指摘及び意見〕

#### 総務分科会

①ふるさと納税については、「積極的な歳入の確保」の取組として捉え、

さらに研究、創意工夫を凝らし、安定的な財源の一部となることを期待する。

②定住促進PRラジオ番組企画放送業務などのメディア戦略については、様々な媒体、チャンネルを利用し本市をアピールすることも必要であるが、貴重な財源を投資するものであることから、その効果の検証が重要である。

#### 教育民生分科会

健康づくりセンター事業については、施設の維持費や人件費等、運営に係る収支をわかりやすく市民に公表し、事業効果の向上、収支の改善には経営感覚を持って取り組むことが必要である。

#### 産業建設分科会

令和元年度プレミアム付き商品券（三次藩札）発行事業については、地元産品の消費拡大や消費喚起による地域経済への波及効果、雇用への影響等細かい分析が重要と考える。

## 各会計の決算状況

(単位：円)

会計名		歳入	歳出	差引
一般会計		39,483,010,957	38,375,537,510	1,107,473,447
国民健康保険特別会計		5,458,662,554	5,457,220,658	1,441,896
診療所特別会計		167,280,502	167,280,502	0
介護保険特別会計		7,150,091,656	7,064,933,623	85,158,033
後期高齢者医療特別会計		818,553,918	804,277,837	14,276,081
土地取得特別会計		97,970,020	97,970,020	0
病院事業会計	収益的収支	8,848,948,069	8,744,793,530	104,154,539
	資本的収支	257,322,000	841,227,362	
水道事業会計	収益的収支	1,817,894,030	1,728,774,080	89,119,950
	資本的収支	779,780,120	1,526,582,028	
下水道事業会計	収益的収支	2,318,766,584	2,190,648,199	128,118,385
	資本的収支	737,474,200	1,235,664,658	



# 会派代表による決算総括質疑が行われました

※総括質疑ってなに？ 議案を一括して質疑を行う方法です。三次市議会では、当初予算審査及び決算審査について、希望する会派代表が質疑を行い、市長が答弁します。

真正会(質問者…横光議員)

1 所信表明の思いは達成できたのか。

答弁 職員の見解の中では、人材育成や意識改革が進みつつあるとの認識は広がってきていると感じている。

薬用作物の調査研究について、国の研究機関、県立広島大学の協力のもと、本市で栽培可能な品目を選定するとともに、広島県、JA等と試験栽培に向けた体制を整備した。

中・長期的な取組となるが、関係機関と連携し、試験栽培に取り組んでいく。

2 決算を振り返り、市財政を考え今後どのように事業を推進するのか

答弁 厳しい財政状況であるからこそ、これまで以上に、市民の皆さんに状況を伝えながら、選択と集中によって、本当に必要な事業を見極め、経営感覚を持った財政運営に取り組んでいきたいと考えている。



会派 未来(質問者…新田議員)

1 「働き方改革」初年度、成果と課題はなにか。また今後の取組は

答弁 働き方改革の取組というのは始まったばかりである。今後は、RPAやテレワークなど、新たなICT技術の活用に積極的に取り組みながら、引き続きワークライフバランスのとれた職場づくりを進めることで、職員が能力を発揮し、市民の幸せの実現につなげていきたいと考えている。

※RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)とは…パソコンなどを用いて行っている作業を自動化するソフトウェアロボットのこと。  
※ICT(インフォメーション)とは…通信技術を活用したコミュニケーションのこと。インターネットのような通信技術を利用した産業やサービスの総称。

2 非正規職員の人材の確保、業務内容の精選等の課題と今後の展望は

答弁 適材適所の人員配置の中で、必要な会計年度任用職員を任用できるよう、予算措置をしている。

3 2019年度における2020年4月からの働き方改革関連法の対象となる市内、中小企業への準備、啓発等の取組について

答弁 広報紙や関係機関を通じて啓発や周知を行ってきた。今後も関係機関と連携をしながら、制度の周知に取り組んでいきたいと考えている。



清友会(質問者…保実議員)

1 令和元年度決算における市長の政策の達成感について

答弁 薬用作物等の調査研究について、国の研究機関や県立広島大学をはじめ、広島県、JA等の関係機関と連携、協力を図りながら、栽培試験による栽培知識、技術の習得、併せて今後の販路拡大などに取り組んでいきたい。

新たな政策の実施や、様々な計画の策定など、市政運営について重要案件を中心に、機会をとらえ、全員協議会で説明しながら、議員の皆さんと議論をしていきたい。また、全員協議会だけが議論の場ではなく、予算決算の総括質疑や、一般質問等の機会もあるので、様々な機会をとらえて議論させていただきたい。

2 人口減少とコロナ禍の中での地域づくりについて

答弁 三次の魅力をしつかりと発信をしながら、人口減少問題に真っ向から取り組んでいきたい。

地方への移住志向の高まりや、テレワーク、新しい働き方の広がりを、チャンスととらえ、地域の特徴ある取組がさらに進んでいくよう支援し、各地域の魅力ある情報発信のため、構築中の定住ポータルサイトや、ふるさと回帰支援センターを活用した取組を進めていきたい。



引き続き、各住民自治組織の皆様や地域の皆様とともに、今後の地域づくりについて考えていきたい。

日本共産党(質問者…伊藤議員)



●災害に強いまちづくりについて

答弁 改めて浸水をされた皆さんに心からお見舞いを申し上げます。

一昨年と今年の大雨では、人的被害は起きていないが、内水の被害に遭われている住民の方は、出水のたびに不安を抱えながら過ごされていることと思う。

近年の気候変動により、全国各地で大雨や台風による被害が発生しており、水災害のリスクが増大していることから、今後も内水対策について調査研究を進めていきたい。

# 委員会中継はじめました

令和2年9月定例会から、1日1常任委員会を開催し、常任委員会のケーブルテレビ中継を始めました。今後も定例会中に常任委員会の中継を実施していきます。ぜひご覧ください。

※インターネット配信は行っていません。

## 委員会審査 委員長報告

定例会で、各常任委員会に審査付託となりました議案等について、9月10日～14日に各委員会を開催しました。その審査の経過と結果を次のとおり報告します。



総務常任委員会の様子

### 総務常任委員会

9月10日開催

#### 【付託議案】

議案第97号「三次市定住住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例(案)」ほか8議案

#### 【審査結果】

いずれも全員一致をもって原案のとおり可決

#### 【議案に対する指摘及び意見】

議案第97号三次市定住住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例(案)について、本議案を含む公共施設の維持管理は、三次市公共施設等総合管理計画に基づき、維持・更新に係るコスト面を主眼に施設等の規模やあり方の見直しを進められており一定の評価をするものである。さらに取組を加速されるとともに、今後は、施設設置個所における災害リスク等の防災に関する視点を含んだファシリテイマネジメントも研究され取組を進められたい。

### 教育民生常任委員会

9月11日開催

#### 【付託議案等】

議案第99号「三次市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例(案)」ほか4議案

#### 【審査結果】

いずれも全員一致をもって原案のとおり可決

#### 【議案に対する指摘及び意見】

議案第99号三次市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例(案)について、引き続き教育・保育の提供を受ける



教育民生常任委員会の様子

ことができる場合は、卒園後の受皿の提供を行う連携施設の確保を不要とする内容のものであるが、連携施設の設定の促進についても検討を行われたい。  
議案第101号三次市福祉保健センター設置及び管理条例の一部を改正する条例(案)については、地域の福祉保健活動の推進に貢献が期待される指定管理者の選定に努められたい。



**【付託議案】**  
 議案第102号「三次市公共下水道  
 条例及び三次市水道事業給水条例の一  
 部を改正する条例(案)」

**【審査結果】**  
 全員一致をもって原案のとおり可決

**産業建設常任委員会 9月14日開催**



産業建設常任委員会の様子

## あっちこっち三次 市議会トピックスのコーナーに出演中

三次市議会では、三次ケーブルビジョンで放送している「あっちこっち三次」に7月から月1回市議会トピックスのコーナーに出演しています。毎回、各常任委員会から2人出演し、常任委員会の取組等を中心に、議会活動を市民のみなさんにお知らせします。

今年、7月に正副議長、8月に広報広聴常任委員会、9月に総務常任委員会、10月に予算決算常任委員会が出演しました。今後の放送日・出演者は決まり次第、市議会のホームページに掲載します。スタジオから生放送で議会情報をお届けしますので、ぜひご覧ください。



正副議長出演



広報広聴常任委員会から出演



総務常任委員会から出演

チャンネル：111ch

番組名：あっちこっち三次 (市議会トピックスのコーナー)

放送時間：17時30分～ (生放送)、再放送あり

放送日：毎月第4火曜日または水曜日 (放送日は予定です。)

出演予定：11月 教育民生常任委員会

12月 産業建設常任委員会

1月 正副議長

2月 coming soon

3月 coming soon

※放送日、出演予定等に変更になる場合があります。

※番組内容や放送に関することは三次ケーブルビジョンへお問い合わせください。

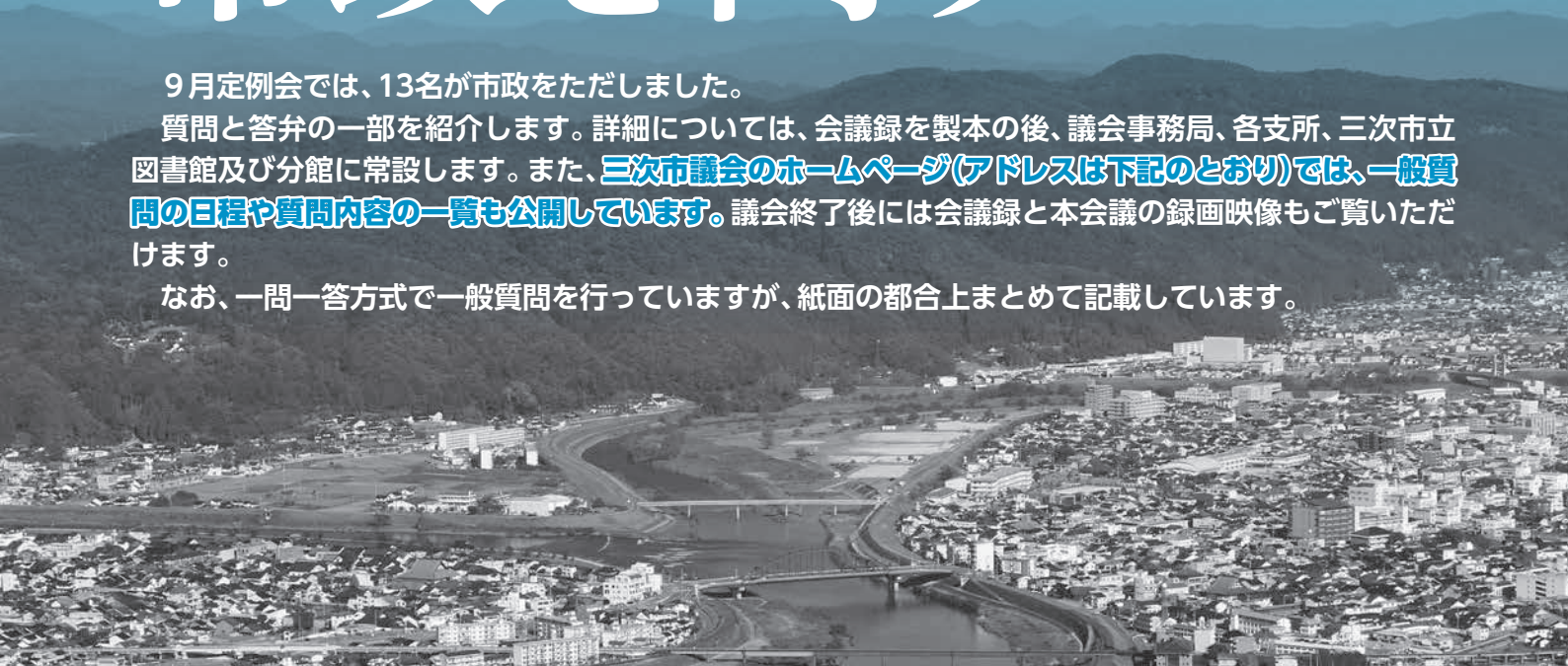
株式会社三次ケーブルビジョン TEL:0824-65-2211 FAX:0824-65-0066

# 市政を問う

9月定例会では、13名が市政をたどしました。

質問と答弁の一部を紹介します。詳細については、会議録を製本の後、議会事務局、各支所、三次市立図書館及び分館に常設します。また、**三次市議会のホームページ(アドレスは下記のとおり)では、一般質問の日程や質問内容の一覧も公開しています。**議会終了後には会議録と本会議の録画映像もご覧いただけます。

なお、一問一答方式で一般質問を行っていますが、紙面の都合上まとめて記載しています。



HPアドレス <http://www.city.miyoshi.hiroshima.jp>

→ 市議会のページ

- 市議会一般質問
- 市議会議事録
- 三次市議会インターネット配信



ふじおか かずひろ  
**藤岡 一弘**  
《明日への風》

**質問 1**  
学校規模適正化検討委員会の設置の目的は

小学校や中学校の統廃合を含む、学校規模適正化を議論する三次市学校規模適正化検討委員会が今年度設置される予定である。前回は平成21年度に設置された。11年経過した現在に、再度設置する目的を問う。

**答弁 1**  
児童及び生徒にとって望ましい学校教育環境の基準を作成する

《甲斐教育次長》  
少子化が進む中で、前回検討の対象としていない中学校も含めて、市立小・中学校の規模及び配置の適正化について調査検討し、児童及び生徒にとって望ましい学校教育環境の基準を作成していくものである。

**質問 2**  
インフルエンザワクチン接種の助成制度の必要性は

今冬は、コロナ禍において、インフルエンザの予防接種を受けるなどの予防策が推奨されている。インフルエンザは流行しやすく、費用負担が大きい。子どもがいる世帯への予防接種の助成が必要であると考えるが、市としての考えを問う。

**答弁 2**  
効果的な支援策について検討している

《福岡市長》  
重症化防止、感染拡大防止の対策について、医療機関、関係者の意見も伺いながら、子どもや高齢者のインフルエンザ予防接種を推奨するための効果的な支援策について検討している。

国民全体のワクチンの量や、三次市のワクチンがどの程度確保できるかという見通しも持ち、それらを踏まえて検討していきたい。

**季節性インフルエンザワクチン 接種時期ご協力のお願い**

① 今年度は過去5年で最大量（最大約6300万人分）のワクチンを供給予定ですが、より必要とされている方に確実に届くように、ご協力をお願いします。

10月1日～	接種希望の方はお早めに 65歳以上の方（定期接種対象者）※ ※65歳以上の方のほか、60歳から65歳未満の慢性疾患（心・腎・呼吸器機能不全等）※50歳前後の期間は、お住まいの市町村で見られますのでご確認ください。
10月26日～	上記以外の方は 10月26日まで接種をお待ちください 65歳以上の方の接種ができるよう ご協力をお願いします
10月26日～	接種希望の方はお早めに 医療従事者 基礎疾患を有する方 妊婦 生後6ヶ月～小学校2年生

季節性インフルエンザワクチン接種時期ご協力のお願い《出典：厚生労働省HP》





増田 誠宏  
《明日への風》

**質問 1**  
新型コロナウイルス感染症への追加経済対策を

プレミアム付き商品券「三次藩札」の追加発行をするのか。今後実施されるキャッシュレス化によるポイント還元制度は、感染症に強い社会環境整備になると考えるが、その内容について伺う。

**答弁 1**  
キャッシュレス化については普及促進を行っていききたい

《中廣産業振興部長》

「三次藩札」の事業主体である三次商工会議所と三次広域商工会から具体的な計画は伺っていない。

新しい生活様式として、キャッシュレス化の推進とポイント還元という消費喚起による地域経済活性化事業を計画している。これを機会に市内店舗のキャッシュレス化の普及促進を行い、実施に当たっては事業者への説明会も開催していきたい。

**質問 2**  
河内保育所の統合について、地域における保育所の果たす役割とは

三次市保育所規模適正化推進計画の後期計画にて河内保育所の統合が示められているが、保育所は福祉施設のみならず、地域におけるにぎわい・活性化の拠点でもある。何とか地域を守っていききたいという思いにどうこたえていくのか伺う。

**答弁 2**  
地域づくりの観点からも重要な施設だと認識している

《松長子育て支援部長》

保育所は、子どもたちの心身ともに健やかな成長を育む場であると同時に、地域の子育て家庭を支援する機能や、若い世代と地域全体の関係性をつなぐ役割も担っており、地域づくりの観点からも重要な施設だと認識している。

《福岡市長》

最終的には、子どもたちにとどのような保育環境がよいのかを大前提に判断する。仮に河内保育所が統廃合されても、地域振興部を中心に地元の方々と協議をしながら、河内は何か特徴でどんな取組をすれば定住促進が進むのか、引き続き真剣に取り組んでいきたい。



山田 真一郎  
《明日への風》

**質問 1**  
公共下水道事業における負担金とは

下水の整備区域の方は、下水道に接続しなくても家の近くに下水管が通るだけで、農地以外には負担金を請求される。なぜ接続しない下水道に負担金が生じるのか伺う。

**答弁 1**  
利益を受ける方に負担していただくものが受益者負担金である

《明賀水道局長》

下水道の受益者負担金は、法律と市条例において、下水道の整備による利益を受ける方に、建設費の一部を負担していただくものと規定されている。下水道が整備されることでその区域の生活環境が向上するが、利益を受ける人や地域が限定される。下水道の建設費を全て公費で賄うという事は、下水道を利用できない方も負担することとなるため、受益者に対して一部負担をお願いしている。

**質問 2**  
貯留地とともに、願万地のポンプの増設を検討すべきではないか

この度の馬洗川右岸の内水対策は、国と県と市、学識者で検討された計画と聞く。今年7月の水害でも願万地排水場にポンプ車の増援があった。この度の計画が完了すれば、市民ホールきりり周辺は浸水しないのか伺う。

**答弁 2**  
ハード・ソフト整備において、市民の安全・安心を確保していく

《坂井建設部長》

畠敷救急内水排水機場の排水ポンプの増強、大谷川の改良等によって、下流域への影響拡大が抑制される。市民ホールきりり周辺へ雨水貯留施設をつくることで、平成30年7月豪雨と同様の降雨に対して、家屋の上浸水が防止できると考えている。

《福岡市長》

国によるポンプ場の増強、市による新たな土地利用規制や貯留池を設置、県によるそれぞれの支川の管理により、2年前に経験した豪雨の内水対策は十分にクリアできると考えている。  
ハード整備とソフト整備において、市民の皆さんの安全・安心を確保する取組を今後も続けていきたい。





すぎはら としあき  
杉原 利明  
《真正会》

**質問1** 新学校給食調理場の運営は地元業者に

学校給食調理業務について、市外大手企業へ委託ではなく、市内業者による共同組合等の設立を促し、市内にお金が循環する運営を願う。

さらに、将来的には市内の福祉事業所や病院へ食事を提供したり、中央病院の給食調理業務等を受注できる企業に育成していくべきと考えるのがいいか。

**答弁1** 安全・安心な学校給食を引き続いて提供できる体制を整えたい

《甲斐教育次長》

配送業務や調理業務は、業務委託をするのかしないのか含めて今後検討していく。仮に業務委託する場合、委託の内容により市内業者で対応できるのかできないのかを併せて検討していく必要がある。いずれにしても、食物アレルギー対応などを考慮して、安全・安心な学校給食を引き続いて提供できる体制を整えていきたい。

**質問2** 学校給食の地産地消率の改善を

4,000食を1つの調理場で賄うスケールメリットを活かすべくと考える。

教育委員会、産業振興部が連携し、1年を通じたメニューに基づき、年間の作付けの量や種類を決め、全量買い取る契約農家制で農家の安定的収入の確保を。

**答弁2** 農業所得の向上に寄与する取組を進めていきたい

《甲斐教育次長》

調理場整備後も、現在食材を納入されている方からは、引き続き納入していただき、市内農家からまとまった量を計画的に納入いただける仕組みを、関係部局やJA三次とも協議をしながら進めていきたいと考えている。

《福岡市長》

我々も同様の仕組みの構築を検討しつつある状況だ。三次らしさを出すというのは、多々ある農地を活用して、新たな産業に結びつけ、農業所得の向上に寄与する取組を進めていくということが求められると考えている。



すぎき みゆき  
鈴木 深由希  
《真正会》

**質問1** 新型コロナウイルス感染症対策における高齢者支援のあり方は

非常事態時には、市内介護事業者間で介護施設利用者の詳細情報が共有できる体制の構築が必要である。文書で通知するだけでなく、感染症対策シミュレーション等の連携強化が必要ではないか。

**答弁1** 関係各所と連携をしながら進めていく

《牧原福祉保健部長》

個人情報配慮が最大限必要となるが、疫学調査に支障があつてはならないという立場もあるので、県と連携しながら進めていく必要がある。シミュレーションに基づく情報共有訓練は必要なことであると考えている。今後、医療機関、介護事業所等と連携を図りながら、実施について検討していきたい。

**質問2** 市民に対する行政の姿勢を問う

感染症に関する啓発で聴覚障害者へ配慮が欠けた件は、市のホームページに掲載することで改善したとは言えない。また、暗所視支援眼鏡が議会では採択されてから半年、生活用具給付対象外の理由とスケジュールを問う。

障害の有無に関わらず、行政が果たすべき情報発信は合理的配慮を遵守し最優先で行われているのか。市民の思いが市政に活かされているのか。市民の意見、要望の対応について市長の考えを伺う。

**答弁2** 市民の思いを大切にしたり市政運営を心がけ、今後も取り組んでいく

《福岡市長》

ハード面、ソフト面、それぞれ回答に時間を要する場合は、途中経過を報告するなどの配慮に気がついた。市民の思いを大切にしたり市政運営を心がけ、今後も取り組んでいきたい。引き続き御指摘、御意見等お寄せいただきたい。

《牧原福祉保健部長》

聴覚障害者への情報提供については、ファックスによる相談ができるよう相談票を作成し、ホームページや広報紙で周知をしている。日常生活用具としての条件は、本機器が安全かつ容易に使用できる実用性が認められることであり、現時点では慎重に検討する必要がある。スケジュールについては、今後協議をしていく。



たけはら たかよし  
**竹原 孝剛**  
《会派 未来》

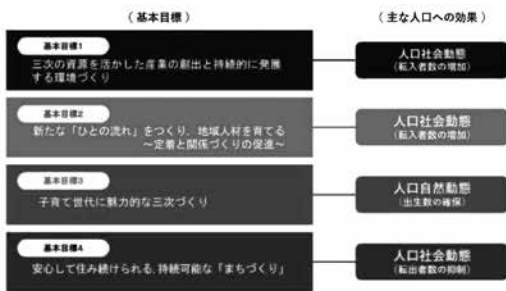
**質問 1**  
本市の人口動態については

人口動向については、旧三次市内エリアは人口減少が少なく、旧町村エリアは人口減少が多いと分析している。合計特殊出生率・未婚率・年齢別3区分・産業別でも分析をされているが原因をどうとらえているのか。

**答弁 1**  
転入出数の均衡や転入増という結果が得られていない

《宮脇経営企画部長》

近年、人口社会減の動きが縮小傾向にあるものの、転入・転出者数の均衡や転入者増という結果が得られていないということも要因の一つである。しかし、市外からの転入者数が転出者数を上回った地域が出始めるなど、明るい兆しも見えてきている。厳しい状況だが、この状況に向き合いながら、本市の未来を見据え、市民と地域と行政が一緒になり、新たな可能性を創造し、発展させていく取組を今度のビジョンの中に入れていきたい。



第2期三次市まち・ひと・しごと創生総合戦略素案から抜粋

**質問 2**  
将来人口の目標達成のための分析はいかに

将来人口のシミュレーションをしているが2030年、2060年の目標設定は達成できるのか。

**答弁 2**  
長期的な人口バランスを維持したい

《宮脇経営企画部長》

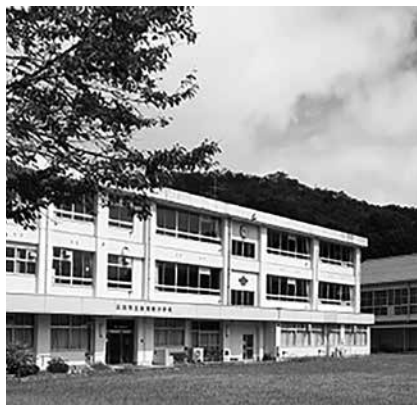
40年後の2060年において、年少人口・生産年齢人口・高齢者人口のバランスが保たれたまちであること、を理想の姿として描いている。このバランスが保たれていないと、人口減少に歯止めがかからないという面がある。そのため、近い将来である2030年に人口5万人堅持を掲げ、そこに向けた取組をしていくことで、長期的な人口バランスを維持したい。



にっ た しんいち  
**新田 真一**  
《会派 未来》

**質問 1**  
地域コミュニティの崩壊を招かないか

2012年に開催された学校規模適正化検討委員会の答申には「中学校区がコミュニティ形成の場として存立していることから、中学校の規模適正化を実施することが地域コミュニティの崩壊や分断を招くことにつながり得るため、中学校の適正化については、本検討委員会における議論の対象としない」と記されている。本市の実態に立っており尊重しなければならぬと考える。そのうえで、本年検討委員会に検討すべき内容をどう諮問するのか伺う。



志和地小学校跡

**答弁 1**  
地域を含めた様々なあり方を含め、今後の議論の行方を見守る

《福岡市長》

前回の答申の内容は承知している。これを踏まえ、教育的視点で検討していただく認識をしている。学校の統廃合という前に、地域を含めた様々なあり方等も含め、今後の議論の行方を見守っていききたい。

《松村教育長》

そこにいる子どもたち、保護者、地域の方々の意見も丁寧に聞いている状況である。当然ながら、それを踏まえた上で教育委員会も検討していく機会を設けさせていただきたいということ考えている。

それぞれの委員から意見を聞く中で、今後の諮問についてどういう形で行っていくかということについては、教育委員会議で検討していく。



ほしはら山のがっこう(元上田小学校)





やまむら えみこ  
**山村 恵美子**  
《清友会》

**質問 1**  
利用急増に対応したこども発達支援センターの運営はなされているか

こども発達支援センターの教室通所、相談数とも利用者が急増している。適正な職員数は確保されているか。また、施設については限られた空間であり、子どもの教室での活動を保護者は廊下から見守るようになってきている。空調設備が不可欠では。

**答弁 1**  
各職員が自分の役割を果たせるようになり、少人数で運営できている

《松長子育て支援部長》

職員の育成が進んだことにより、各指導員の担当業務の適正化を図っている。また、こどもの特性を重視した1教室あたりの児童数の見直しを行い、教室を企画・運営する指導員の負担を減らしながら内容の充実に努めている。保護者も空調の効いた部屋から見ることができるよう、順次、計画的に整備を完了し、また、活動の場を移すなどの対応をしているところである。現在のところ、廊下までの空調の整備は考えていない。



こども発達支援センターの廊下

**質問 2**  
周知不足が指摘される総合型地域スポーツクラブへの支援は

三次市スポーツ推進計画において、総合型地域スポーツクラブの周知不足が指摘されることへの対応を伺う。現在NPOみわスポーツクラブ1団体が活動中だが、NPO育成は市の重要な任務である。人材育成や活動拡大等、支援が不可欠では。

**答弁 2**  
地域の主体的な取組に対して助言と支援を行っていききたい

《中原地域振興部長》

NPO法人みわスポーツクラブの活動については、クラブのフェイスブックや、みわスポーツクラブ通信の配布、広報紙等でも周知を図っている。

総合型地域スポーツクラブが地域密着型である以上、地域から設立の声が上がり、地域が主体的に取り組む必要がある。市としては、地域の主体的な取組に対して助言等様々な支援を行っていききたい。



やすざね おさむ  
**保実 治**  
《清友会》

**質問 1**  
通級指導教室の現状と今後の取組は

昨年4月から八次小学校に開設され、他の小学校にも巡回による指導を実施されているが、通級指導を望んでも受けられない子どもはいないか。指導を受けられることが適切なのに、保護者の同意が得られないケースがないか。今後中学校での導入の予定はないか伺う。

**答弁 1**  
学校、保護者と連携をとっている

《松村教育長》

他校でニーズがある場合は、巡回指導という形で出ていく工夫も行っていききたい。子どもの状況を保護者と話す中で、専門医への受診等もお願いしている。それによって、現在通っている子どももいるので、徐々に理解も深まり広がりを持つてきている。今後は専門家の意見を聞きながら、通級の指導が適当であるかという、判断もしていかなければいけない。現在、学校、保護者と連携を取っているところである。

中学校については、次年度から着手をしたいと考えている。現段階に

おいては入級の確定はなされていないが、学校を通して希望を確認している段階である。

**質問 2**  
野良犬・野良猫対策は

野良犬、野良猫について各地域から苦情・相談が多い。動物愛護法が改正され、罰則強化された。「マイクロチップ」の装着が義務化されるが、市民に対しての啓発はどのようにされるか。また野良犬・猫への餌付けにより近隣から苦情等について行政としての対応を伺う。

**答弁 2**  
手続については積極的に周知を図っていききたい

《上谷市民部長》

野良犬については、「動物の愛護及び管理に関する法律」、「狂犬病予防法」に基づき保護・抑留する。依頼があった場合には保護機を設置し、保護を行っている。保護した野良犬は、広島県動物愛護センターと協議し、引取りを依頼している。

野良猫については、原則として広島県動物愛護センターによる引取りが行われておらず、トラブルがある場合には、野良猫を敷地内へ侵入させないように、自衛で忌避対策を行っていただくなど、野良猫を逃がすことを勧めるよう呼びかけをしている。また、広島県動物愛護センターでは、「地域猫活動」として、地域住民が主体となって共存する取組を推奨している。

こういった手続については、市として積極的に広報による周知を図っていききたい。





なかはら ひで き  
**中原 秀樹**  
《公明党》

**質問 1**  
古くなった防火水槽の更新計画は

地域の安心・安全の面から考えた時、古くなった防火水槽を、市として今後どのように管理するように考えているか。また、修繕や更新が必要な防火水槽においては期限を明確にして早急に対応すべきと考えるが所見を伺う。

**答弁 1**  
消防団と連携しながらきめ細やかに対応したい

《川村危機管理監》

劣化、損傷の激しいもの、安全性を著しく欠くものについては、優先順位をつけ、予算の範囲内で耐震性貯水槽への更新、修繕等による維持、または廃止等を実施している。

老朽化して危険である等の連絡のあった防火水槽は、現地確認をしている。修繕には予算の裏づけが必要のため、直ちに地元で修繕の計画を説明することは難しい。どのように対応していくか消防団と連携しながら、地元に対してきめ細かに対応していきたい。



防火水槽

**質問 2**  
人口減少社会での三次市が目指す地域づくりとは

国勢調査から見えてくる三次市へのマイナス影響で、今後の市政運営は益々厳しいものになると考えられる。これからも人口減少が進んでいく中で、市としてどのような地域づくりを目指しているかとお考えなのか、ご所見を伺う。

**答弁 2**  
持続可能なまちづくりを目指したい

《福岡市長》

新しい価値の創出やつながり人口の拡大、結婚・出産・子育てなどの支援、生活サービスの維持などに取り組みることにより、安心して住み続けられるまちを目指し、持続可能なまちづくりを目指していきたい。



よしのり  
**重信 好範**  
《市民の声》

**質問 1**  
市営住宅等における敷金・住宅使用料等の還付未済の原因及び今後の対策は

市営住宅等において、令和元年度の分の住宅使用料等の過納者の一部に還付未済があることが判明した。さらに、過去の住宅使用料等及び敷金についても、同じく一部に還付未済があることが判明した原因及び今後の対策を伺う。

**答弁 1**  
基本に立ち返って事案を防いでいきたい

《細美総務部長》

令和元年度の決算状況を確認し、発覚した。原因としては、入居者対応等の通常時の業務が忙しいため、還付の処理等を後でまとめて整理しようとして担当者が考え、最終的に年度が終わって還付を失念していたことが直接的な原因である。まず、1人に業務が偏らないように担当者の業務配分を適正にし、複数の担当者がチェックを行い、決裁の縦ラインがきちんとしたチェックをするという基本のところに立ち返ることで、今回のような事案を防いでいきたい。

**質問 2**  
生活保護世帯へのエアコン購入費等の補助制度の周知方法は

今年の夏も記録的な猛暑が続き、全国各地で熱中症で亡くなる方が続出した。異常気象とも言える昨今、厚生労働省は平成30年度からの生活保護世帯利用者に対して、エアコン購入費等の支給を認める通知を出した。補助制度の周知方法を伺う。

**答弁 2**  
生活保護のしおりの改訂版に記載をした

《牧原福祉保健部長》

この春、生活保護のしおりの改訂版に記載をした。それ以前については、それぞれの相談の中で、冷房器具の設置が可能であるといった質問等に対する説明をしている。

**生活保護制度の利用を考えている方へ  
生活保護のしおり**

生活を保障し、自立を支援します。

わたしたちの一生の間には、病気、けが、年をとることで仕事ができなくなったり、生活費を稼いでいた家族が亡くなったり、事故があったりするなど、いろいろな事情で家計が苦しくなったり、どうにもならなくなることがあります。  
このようなとき、憲法で保障される「健康で文化的な最低限度の生活」を守るとともに、一日も早く、自分の力で生活できるよう手助けをするのが生活保護制度です。

生活保護のしおり



ゆみかけ げん  
**弓掛 元**  
《ともえ》

**質問 1**  
豪雨時の内水対策を問う

今年も7月の大雨により内水による浸水被害が起こっている。50年に一度といわれる規模の大雨が2〜3年間隔で降るようになっており、三次町・願万地・寺戸・中所地区においても内水対策が必要と考える。どう対処されるのか伺う。

**答弁 1**  
効率的に排水作業ができるような工夫も検討したい

《川村危機管理監》

内水対策については、平成30年7月豪雨の被害を踏まえ、寺戸地区や中所地区を含めて計24台ポンプを増設したほか、排水ポンプ車の機動的な活用などにより対応している。今後は、可搬型の排水ポンプの貸し出しや、現場の状況に応じて効率的に排水作業ができるような工夫も検討したい。

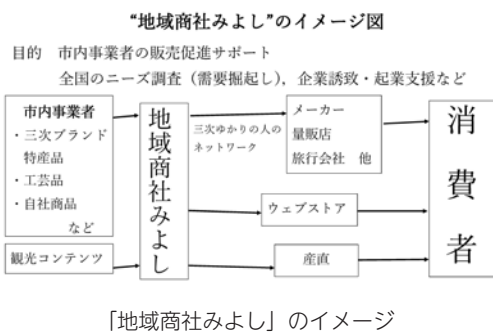
**質問 2**  
地域商社の設立を提案するが考えを伺う

市内商品、サービスを三次ブランドとして引き受け、集約し、販路の拡大(ネット販売等)を行う地域商社設立を提案するものである。販路拡大の支援があることで市内起業促進、または市外からの生産者移住・定住にもつながると考える。市の考えを伺う。

**答弁 2**  
設立等の動きがあれば市も連携協力をしていきたい

《中廣産業振興部長》

市場等のマーケティング戦略の基、販売のノウハウを有する民間事業者が主体となって、販売、運営されるということが適していると思っている。今後、民間主導による設立等の動きがあれば、市も連携協力をしていきたい。



三次もののけミュージアム

**質問 1**  
もののけミュージアムの指定管理運営をどのように考えているのか

もののけミュージアムの本年4月までの来客数は、14万人と伺っているが、令和2年度の集客見込み数は何人か。今回初めて指定管理者を募集しているが、指定管理後どのように運営をしていくのか伺う。

**答弁 1**  
管理者との協議において調整する

《宮脇経営企画部長》

5月21日から営業を再開しており、今年度の来館者は、9月15日現在で1万5,209人である。見込みに



つきはし かずふみ  
**月橋 寿文**  
《ともえ》

**質問 2**  
三次の観光産業の活性化策として独自のツアーを検討してはどうか

新型コロナウイルス感染症の影響で、遠方への旅行など厳しい状況の中、三次市民に三次のことをもっと知ってもらう良い機会と捉え、JRや地元バス会社などと協力して、市民向けの三次を巡る独自のツアーを検討してはどうか。

**答弁 2**  
三次市民市内おでかけキャンペーンを実施する

《中廣産業振興部長》

市民向けの観光施策として、三次市民市内おでかけキャンペーンを11月30日まで実施する。市内の観光施設で、賛同する施設を対象とし、入館料など、1人最大500円の割引を受けられるクーポン券2枚を9月の広報紙に折り込み、市内各戸に配布する。

観光施設の利用促進という側面と、市内の魅力ある施設を知っていただき、一人一人に魅力を発信していただくことも期待して実施するものである。

ついでには、新型コロナウイルス感染症対策や国の方針等への対応もあり、昨年度を大幅に下回ることが予想される。指定管理後の運営等については、管理者との協議において調整することになる。

# 議長の定例会見を実施しました

定例会での審議等の総括、議会日程等を広く市民の皆様にお伝えするため、定例会最終日に議長の定例記者会見を実施しました。

## 1 令和2年9月定例会の総括について

- (1) 常任委員会のケーブルテレビ中継開始について  
総務、教育民生、産業建設の各常任委員会は、1日1委員会を開催することとし、委員会審査のケーブルテレビ中継を始めました。

これにより、既に中継を行っていた予算決算常任委員会と併せ、議案の委員会審査は全てケーブルテレビで視聴できるようになりました。

## 2 その他

- (1) 新型コロナウイルス感染症対策に係る議員の移動に係る申合せについて
- 視察・研修等については県内範囲を基本とする。
  - 県外への移動については、感染リスクの高い地域への移動は控えるとともに2週間は体温測定を徹底する。
  - 個人で行事等に参加される場合も同様に対応する。
  - 原則、県外へ移動する場合には、事前に議長に届け出る。



## 議会の様子はインターネットで見ることができます

市議会のホームページにおいて本会議の様子をインターネット配信しています。平成25年第1回臨時会以降の映像を見ることができます。本会議当日は生中継も行っています。ぜひご覧ください。

三次市議会のホームページからアクセス  
(市議会トップページから「市議会情報」→「三次市議会インターネット配信(動画)」をクリック)または  で

また、三次市議会のホームページでは**議会の予定や定例会の日程、一般質問の一覧なども掲載**していますので、ホームページも併せてご覧ください。

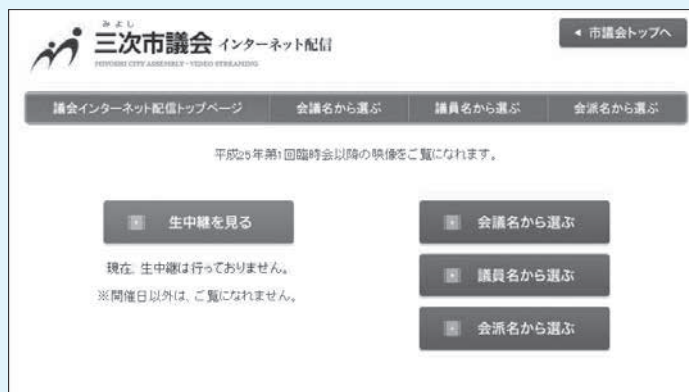
HPアドレス  
<http://www.city.miyoshi.hiroshima.jp>



インターネット配信ページ



「三次市議会のページ(携帯サイトではありません)へアクセスします。」



インターネット配信



# 議員研修会を実施しました



堀川副市長による研修



堀川副市長



議長による議会基本条例の解説

(議員の活動原則)

第4条 議員は、次に掲げる原則に基づき議員活動を行うものとする。

- 議員は、選挙によって選ばれた市民の代表であることを自覚し、市政の課題全般について市民の思いを的確に把握し、市民全体の福祉の向上をめざすこと。
- 議員は、議会が言論の場であること、及び合議制機関であることを認識し、**議員相互間の自由な討議を重んじる**こと。
- 議員は、日常の調査及び研修活動を通じて自らの資質の向上に努めること。
- 議員は、**地方自治の本旨にのっとり、政策、条例、意見書等の議案を提出する努力を**すること。
- 議員は、**市政の課題に関する論点を市民に明らかに**するため、一般質問を**一問一答方式により**行うこと。

三次市議会基本条例の一部 議員の活動原則について規定してある

### 第5世代移動通信システム(5G)とは

<5Gの主要性能> 超高速 最高伝送速度 10Gbps  
超低遅延 1ミリ秒程度の遅延  
多数同時接続 100万台/km<sup>2</sup>の接続機器数

5Gは、AI/IoT時代のICT基盤

低遅延 ⇒ 現在の移動通信システムより100倍速いダウンロードサービスを提供

超高速 ⇒ 2時間の映画を3秒でダウンロード (LTEは5分)

超低遅延 ⇒ 利用者が遅延(タイムラグ)を認識することなく、リアルタイムに遠隔地のロボット等を操作・制御

多数同時接続 ⇒ ロボット等の精緻な操作 (LTEの10倍の精度) をリアルタイム通信で実現

同時接続 ⇒ スマホ、PCをはじめ、身の回りのあらゆる機器がネットに接続 (LTEではスマホ、PCなど数個)

社会的なインパクト大

研修資料の一部(5Gとは)

### 人工知能(AI)の進化

人工知能(AI)は、ディープラーニングの開発を契機に、飛躍的な進化を遂げている。

レイ・カーツワイル氏は、2045年にシンギュラリティ(AIが人間の知性を上回る)の実現を予測している。

2006年: ビンらがディープラーニングを考察

2012年: ディープラーニングでAI自らが猫の特徴を識別する機能を飛躍的に高めた

2016年: 囲碁ソフトAlpha Goが韓国トップに勝利

2017年: 棋譜なしに人間を超える能力を持つ囲碁ソフトAlpha Go Zeroの実現

2018年: 計算機性能の飛躍的向上(GPGPU(※)など) 絶え間ない技術革新 ⇒ 学習によりパターン認識向上

2045年: SINGULARITY (技術的特異点)

人工知能、遺伝子工学、ナノテックによる新素材の開発等の発展に伴う「生命と融合した人工知能」の実現

カーツワイルの予測 (Google社技術責任者)

【※】GPGPU (General-Purpose computing on Graphics Processing Units)

GPU (画像処理に特化した並列処理装置)を画像処理以外でも利用可能にした汎用装置。

【参考】ムーアの法則に基づく計算機性能向上予測

研修資料の一部(人工知能の進化)

三次市議会では、10月8日に議員研修会を開催しました。この研修会は、議会基本条例第2条及び第15条の規定により、議員の政策形成及び立案能力の向上等を図るため開催しています。

研修内容1点目は、総務省出身の堀川副市長に「総務省における地域情報化等の取組について」をテーマに、情報通信技術の発展と展望について、地域におけるICTの推進に関して総務省での取組事例等を基に講演していただきました。

2点目は、三次市議会基本条例について議長から解説があり、議会の基本について振り返りを行いました。今回の研修を、これからの議員活動に生かしていきたいと思えます。

※ICT(アイシーティー)：通信技術を活用したコミュニケーションのこと。インターネットのような通信技術を利用した産業やサービスの総称。

# 傍聴者に聞いた! 「傍聴ってこうだったのか!!!」

9月定例会を傍聴に来られた方に、広報広聴常任委員がインタビューしました。なぜ傍聴したの? どうだった?? これを参考にみなさんも議会を傍聴してみませんか?

傍聴のきっかけは何ですか?



委員



村上さん

気になるテーマがあったので、聞きに来ました。

傍聴の感想を教えてください!

日程が分かればもっと来やすいかも。学生さんの社会見学とか子どもがこの場になじむ取組があったらいいと思います。

ありがとうございました。議会の日程や、一般質問の内容はホームページでも見られるので、また傍聴に来てくださいね。



傍聴のきっかけは何ですか?



委員



花岡さん

以前勤めていた会社で、地域を発展させるには行政と企業が一体になることが大切と学んだので、それ以来できるだけ傍聴するようにしています。

傍聴の感想を教えてください!

近年、議論の内容や表現が分かりやすくなって良いと思います。感染症対策で休憩もとられるようになり、傍聴しやすくなり生産性も改善されたと思います。学生が傍聴できる取り組みがあれば、将来の政治家や行政マンを育成できるかもしれません。傍聴席が空いているのはさみしいです。

ありがとうございました。また、いつも傍聴していただきありがとうございます。引き続き、傍聴しやすくなるよう取り組んでいきたいと思えます!



傍聴のきっかけは何ですか?



委員



近藤さん

議員さんの応援をしていて、今日は初めて傍聴に来ました。

傍聴の感想を教えてください!

議会だよりの紙面だけでは分からない空気感が味わえました。一般質問では残り時間も表示され、スリリングでとても参考になりました。

ありがとうございました。議場に来ないとわからないことですね。貴重な感想ありがとうございました。また傍聴に来てくださいね。



インタビューと議会だよりの掲載を快諾していただいたみなさま、ありがとうございました。

三次市議会では、傍聴者の間隔を空けるなど、感染症対策を実施して傍聴してもらえるようにしています。大人数での傍聴の場合は事前にご連絡ください。

ケーブルテレビでの放送やインターネット配信も実施していますので、そちらもぜひご覧ください。





# 議会のうごき

2020(令和2)年  
8月1日～10月31日

- 8月**
  - 4日 議会運営委員会
  - 5日 教育民生常任委員会
  - 11日 教育民生常任委員会
  - 12日 備北地区消防組合議会
  - 18日 産業建設常任委員会
  - 19日 教育民生常任委員会、新人議員研修会
  - 25日 議会運営委員会、全員協議会
  - 26日 市議会トピックス(広報広聴常任委員会出演)
  - 27日 教育民生常任委員会
  - 31日 教育民生常任委員会
- 9月**
  - 3日 議会運営委員会
  - 4日 9月定例会本会議、予算決算常任委員会、広報広聴常任委員会
  - 7日～8日 9月定例会本会議(一般質問)
  - 9日 議会運営委員会、9月定例会本会議(一般質問)
  - 10日 総務常任委員会
  - 11日 教育民生常任委員会
  - 14日 産業建設常任委員会
  - 15日 教育民生常任委員会
  - 16日～18日 予算決算常任委員会
  - 23日～25日 予算決算常任委員会
  - 24日 議会運営委員会
  - 28日～29日 予算決算常任委員会
  - 29日 市議会トピックス(総務常任委員会出演)
  - 30日 9月定例会本会議、議会運営委員会、全員協議会
- 10月**
  - 8日 議員研修会
  - 15日 教育民生常任委員会行政視察
  - 19日 広報広聴常任委員会
  - 23日 会派代表者会議
  - 26日 広報広聴常任委員会
  - 28日 教育民生常任委員会、市議会トピックス(予算決算常任委員会出演)

## 行政視察受入状況

8月5日 香川県三豊市(日韓友好都市について)

次期定例会の 12月 4日(金)  
開会予定日は

### ■議会の傍聴について

議会の本会議は、どなたでも傍聴することができますが、**新型コロナウイルス感染拡大防止のため、座席数を減らす等、傍聴を制限する場合がございますのでご了承ください。**

ケーブルテレビでは議会の生放送と当日の夜7時から再放送をしますのでそちらもご利用ください。

また、市議会のホームページにおいて本会議の様をインターネット配信しますので、ご利用ください。

### ■請願・陳情の提出は、11月20日(金)正午まで

市政についての意見や要望を直接市議会に提出する制度で、議員の紹介のあるものを請願、ないものを陳情と言い、どなたでも提出することができます。

### ■市議会トピックスをご覧ください

毎月1回、ケーブルテレビの「あっちこっち三次」に議員が出演し、各委員会の報告等を行っています。ぜひご覧ください。

### ■無料アプリ「マチイロ」版の議会だよりについて

無料アプリ「マチイロ」を利用して、みよし市議会だよりをご覧ください。ことができます。

詳しくは市議会ホームページの「みよし市議会だより」のページをご覧ください。

お問い合わせは 議会事務局へ

TEL 0824-62-6179 FAX 0824-62-6110

Eメールアドレス gikaijimu@city.miyoshi.hiroshima.jp

## あ | と | が | き

新人議員の私にとって、初めてとなる決算審査9月議会が終了しました。皆様の税金がどのようなことに使われて、本当に効果があったのか。未来に向けての良い投資だったのか。緊張の中、言葉を選びながら質疑をさせていただきました。議会は、ファシリティマネジメントなど難しい言葉が多いですが、できるだけ分かりやすく興味を持って頂けるように努力してまいります。市議会議員は、市民の皆様が一番近い政治家です。まずは市議会だよりをご愛読いただき、気軽に声をおかけください。(月橋 寿文)

大当瓦窯跡



平安時代に記された日本最古の説話集「日本霊異記」に登場する備後三谷寺であろうと推定される「寺町廃寺跡」から約1.5km離れたところに「大当瓦窯跡」という国の史跡があります。寺町廃寺の屋根瓦を焼成したといわれ、窯跡では、現在でも布目の模様などのついた瓦のかけらを目にするることができます。また、「水切瓦」という下側が尖った百済様式の美しい素弁蓮華文の軒丸瓦も出土しています。現在は地域の方が寺町廃寺跡までの山道をウォーキングコースとしても整備されています。(徳岡 真紀)

## 国史跡 大当瓦窯跡

